

一般財団法人エンジニアリング協会
地下開発利用研究センター

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9
BPR プレイス神谷町 9 階

TEL 03-6441-2923(直通)/FAX 03-6441-2942

ホームページアドレス ; <https://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 430 号 / 2025.7

Index

- 新理事長就任のお知らせ
- 2025 年度 第 1 回研究企画委員会 開催報告
- 2025 年度 地下利用推進部会の発足
- 2025 年度 第 1 回 地熱発電・熱水活用研究会 開催報告
- 2025 年度水素インフラ研究会第 1 回 講演会 開催のご案内
- 国内見学会参加者募集の予告
- 第 1 回 日帰り見学会中止のお知らせと、再開 催について

■ 新理事長就任のお知らせ ■

2025 年 6 月 20 日付けで寺嶋 清隆 氏(日揮ホールディングス株式会社 代表取締役)が理事長に就任されましたことをご報告いたします。

寺嶋 清隆 理事長の就任挨拶は、当協会ホームページに掲載しております。

【新理事長挨拶】 <https://www.ena.or.jp/about/greeting/greeting20250620>



寺嶋 清隆 氏

■ 2025 年度 第 1 回研究企画委員会 開催報告 ■

2025 年度 第 1 回 研究企画委員会 (委員長・新任：鹿島建設(株) 利穂 吉彦様、副委員長・新任：大成建設(株) 清水 正巳 様) が 6 月 11 日 (水) に開催されました。主な議題は以下に示すとおりで、審議事項についてはいずれも承認されました。

1. 2024 年度事業報告 (案) 及び決算報告 (案) について (審議)

- (1) 2024 年度事業報告書 (案)
- (2) 2024 年度決算報告 (案)

2. 2025 年度事業の進捗について (報告)

- (1) 2025 年度受託事業
- (2) 2025 年度自主事業

【調査研究および研究開発】

- 1) 研究企画ワーキング
- 2) 研究会
 - ① 放射性廃棄物研究会、② 地熱発電・熱水活用研究会、③ 計測技術研究会、④ 水素インフラ研究会、⑤ 地盤環境研究会
 - ⑥ 地下利用推進部会 第 1 部会、第 2 部会、第 3 部会



委員会の会議風景

【普及啓発】

- ・国内見学会、日帰り見学会、GEC ニュース、地下情報化部会、
- ・エンジニアリング功労者表彰式、エンジニアリングシンポジウム

3. 当面の事業紹介（報告）

- ・日帰り見学会、ENAA 研究成果発表会 2025

次回の第2回研究企画委員会は9月2日（火）に開催する予定です。

■ 2025 年度 地下利用推進部会の発足 ■

地下開発利用研究センターの主要な活動の一つである地下利用推進部会は、1994 年度に発足し、基本的に2年ごとにテーマを更新して活動を実施してきました。

2025 年度は、「AI を含むデジタル技術の活用による地下インフラの効率的な整備・運用に関する調査研究」を全体テーマに、賛助会員企業に委員参加の公募したところ、21 社より 29 名の応募がありました。

これを受けて、3つの部会を編成し、部会長・副部会長を中心に、6月中旬より本格的な活動を開始しました。あわせて、各部会の部会長・副部会長を構成メンバーとする幹事会を設置し、幹事長には清水建設(株)の安藤 拓 様、副幹事長には鹿島建設(株)の栗山 裕司 様を選任しました。

各部会の調査研究内容及び委員を以下に示します。

＜2025 年度 地下利用推進部会＞ ーAI を含むデジタル技術の活用による地下インフラの効率的な整備・運用に関する調査研究ー ◇幹事会 幹事長：安藤 拓 清水建設(株) 副幹事長：栗山 裕司 鹿島建設(株)（敬称略）		
部 会 名	調 査 内 容	委 員 名 簿
第1部会 (9社9名)	地下インフラの調査・設計におけるAIを含むデジタル技術の活用に関する調査研究	部会長：中井 寛 鉄建建設(株) 副部会長：上原 大二郎 中央開発(株) 委 員：室山 拓生 (株)安藤・間 市川 督人 西松建設(株) 伊藤 克也 (株)大林組 鬼木 浩二 大日本ダイヤコンサルタント(株) 今井 利宗 川崎地質(株) 村田 航大 パシフィックコンサルタンツ(株) 滝澤 護 東電設計(株)
第2部会 (12社12名)	AI を含むデジタル技術を活用した地下インフラの建設・運用に関する調査研究	部会長：栗山 裕司 鹿島建設(株) 副部会長：田中 宏典 戸田建設(株) 委 員：岩崎 広幸 (株)安藤・間 東中 基倫 (株)地球科学総合研究所 田井 伶 (株)鴻池組 保広 将尚 東急建設(株) 深澤 英将 佐藤工業(株) 田 彦 東電設計(株) 山田 宣彦 鉄建建設(株) 安井 利彰 前田建設工業(株) 額 善孝 西松建設(株) 森 桂一 (株)竹中土木
第3部会 (8社8名)	地下インフラの防災・危機管理機能向上に資するAIを含むデジタル技術の活用に関する調査研究	部会長：安藤 拓 清水建設(株) 副部会長：村瀬 澄江 (株)竹中工務店 委 員：森 清隆 (株)安藤・間 渡辺 慎太郎 基礎地盤コンサルタンツ(株) 堂園 浩一 鉄建建設(株) 岩竹 要 大日本ダイヤコンサルタント(株) 船場 翔 東電設計(株) 塩崎 泰翔 (株)ブルーアースセキュリティ

■ 2025 年度第 1 回地熱発電・熱水活用研究会 開催報告 ■

5 月 13 日（火）に第 1 回地熱発電・熱水活用研究会（委員長：海江田 秀志 様 鹿島建設株式会社）を開催しました。

第 1 部講演は「松川地熱発電所リプレース工事について」と題して、東北自然エネルギー(株) 雫石事業所 副所長 松平 望 様にご講演いただきました。

松川地熱発電所は岩手県八幡平市の十和田八幡平国立公園内にあり、自然由来の再生可能エネルギーを集め、有限な化石エネルギーにない持続可能な最適エネルギーを提供することをミッションとしています。集めた地熱資源は発電に利用するだけでなく、地域全体のエネルギー需要に活用することで、より有効に活用しています。



松平 望 氏

当発電所は 1966 年に日本で初めての地熱発電所として営業運転を開始し、2023 年までの 57 年間にわたって累計 795 万 MWh の電力を発電しました。ただし、運転開始から 50 年以上が経過し、発電設備の老朽化が著しく進んでいます。当該地では、地熱資源としての蒸気量が豊富に存在し、長期にわたり安定した供給が可能であることから、既存設備を活用した最適な発電設備にリプレース工事を行っています。コーポレートスローガンである「これまでも、これからも、電力の安定供給と地球温暖化対策への貢献」、そして温水等の地熱資源の供給、観光資源として地域振興に貢献することを目指しているとのことでした。

第 2 部講演では、「世界の地熱利用・技術開発動向」と題して、独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構特命参与 安川 香澄 様にご講演いただきました。世界の潮流として地熱活用の重要性が高まっており、これに伴い技術開発も行われています。バイナリー発電は比較的低温の地熱資源を活用できるため、非火山国でも地熱発電を行う国が増加しています。また、地熱を熱源として暖房等に利用する直接利用は、脱炭素効果が地熱発電以上に大きいことや高温の地熱資源を有しない国でも利用できます。このこと



安川 香澄 氏

から中国と欧州を中心に、地域暖房や地域冷却に使用することを目的とした地熱の直接利用が、地熱発電を上回る勢いで増加しています。米国エネルギー省（DOE）は、次世代地熱が将来の再エネ戦略の中で重要となることを強調しつつ、法制面で必要な措置等を示し、国際エネルギー機関(IEA)は、地熱エネルギーの将来に関する報告書をまとめ、2050 年までの予測等を行っています。このように脱炭素社会を目指す世界的な動きの中で、世界の地熱活用は着実に増加しているとの説明をしていただきました。

研究会は会場約 18 名、Web より約 75 名の方にご参加いただき、各講演では質疑応答も活発に行われました。研究会終了後に開催された意見交換会には、講師の方にもご参加いただき活発な情報交換がされていました。なお、地熱発電・熱水活用研究会での過去の配布資料の一部は、当協会ホームページ（下記 URL）よりご覧いただけます。

https://www.ena.or.jp/gec/project_info

■ 2025 年度 水素インフラ研究会第 1 回 講演会開催のご案内 ■

2025 年度 水素インフラ研究会 第 1 回講演会を開催します。今回は、
東京大学 先端科学技術研究センター 水素エネルギー分野 河野 龍興^{こうの たつおき} 教授様
に、ご講演いただきます。

参加ご希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。

(申込期限 7 月 30 日 (水))

1. 日 時： 2025 年 8 月 6 日(水) 15:30
2. 参加方法： Web での視聴のみとさせていただきます。
3. 連 絡 先： 地下開発利用研究センター (長井、中村)

E-mail : nagai.keiichi@enaa.or.jp



河野 龍興 教授

■ 国内見学会参加者募集の予告 ■

当センターでは、国内で注目されている地下利用施設や地下建設工事などを対象に、賛助会員企業から参加者を募り見学会を開催しています。今年度は、関係各位のご理解、ご協力を得て、日本原子力研究開発機構の幌延深地層研究センター、エア・ウォーター株式会社・戸田工業株式会社による「DMR 法」による水素製造プラントを見学させていただくことになりました。ただし、幌延深地層研究センターの坑道見学は、一日 9 名、両日で 18 名が上限になります。申し込み人数が多い場合には坑道見学だけご遠慮頂く可能性がございますのでご承知おき下さい。詳細は会員各社の連絡窓口担当者に後日ご案内します。参加をご希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

1. 期 日：2025 年 9 月 25 日 (木) ~ 9 月 26 日 (金) (1 泊 2 日)
2. 行 程：現地集合・現地解散です。現地バス代、宿泊代、26 日の昼食代は参加費として後日請求させていただきます。
3. 集 合：9 月 25 日 12:50 (ANA571 を想定)、稚内空港
4. 解 散：9 月 26 日 15:00 (ANA574 を想定)、稚内空港
5. 定 員：25 名
6. 申し込み期限：2025 年 8 月 22 日 (金)
7. 問い合わせ先：地下開発利用研究センター 塩崎、中村

TEL : 03-6441-2923 FAX : 03-6441-2942

E-mail : gec-kokunai@enaa.or.jp

■ 第 1 回日帰り見学会の再開催について ■

6 月 25 日 (水) に予定しておりました「2025 年度 第 1 回日帰り見学会」は、台風 2 号から変わった熱帯低気圧の影響により、断続的な降雨が見込まれるため、安全面を最優先に考慮し、中止となりました。現在、訪問先と調整を行いながら、改めての開催に向けて検討を進めており、新たな日程として 9 月初旬を考えております。詳細が決まり次第、改めてご案内申し上げます。